

初乳の給与で哺育豚の事故率低減&育成率向上！

初乳中の免疫グロブリンを測定してみませんか？

免疫グロブリンを測定する目的

子豚は母親の初乳からしか病原体に抵抗する免疫を獲得できません。初乳を与える事で抵抗力がつき、子豚が自分の力で免疫を作り出せるようになるまで守ってくれます。したがって、初乳中の IgG 量を測定し、母豚の免疫の度合いを把握することによって、哺乳豚の病気の予防及び事故率の低減につながる事でしょう。

初乳中の免疫グロブリンの測定方法

- (1) 分娩中の豚の初乳を採取し、一晩置く
- (2) 写真1のように分離した脂肪を取り除く
- (3) レンネット液を加える
- (4) 写真2の矢印のように乳清が出る
- (5) この乳清を糖度計で測定する（写真3）
測定した値がBrix値で、免疫の目安となります。



こんな感じで計ります



覗いてみると



Brix 値は 23.4



○詳細は、下記までご連絡下さい！

岩手県中央家畜保健衛生所 衛生課
(お問合わせ先：019-688-4111 中小家畜担当)